

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
中山記念	別定	GII	中山	芝1800m	良想定	平坦	中荒れ	D

※文字色の意味

2021/2/28

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	トーセンスーリヤ	横山和	ローエングリ	サドラーズウェルズ	デュランダル	サンデーサイレンス	56	C	B	B	C	B	C	4	☆	5
2	コスモカレンドウラ	柴田大	ノヴェリ	ブランドフォード	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	56	C	A	B	B	B	B	12	▲	6
3	ノーブルマーズ	高倉	ジャンルボケット	トニービン	Silver Hawk	ロベルト	56	D	D	D	D	E	E	11	消	12
4	ケイデンスコール	岩田康	ロードカナロア	キングマンボ	ハーツクライ	サンデーサイレンス	56	C	D	C	D	D	D	5	△4	2
5	マイネルハニー	丸山	マツリダゴッホ	サンデーサイレンス	ナリタフライアン	ロベルト	56	D	C	D	C	E	E	13	消	13
6	フランツ	Mデムーロ	ディーブインバクト	ディーブインバクト	ブライアンスタイム	ロベルト	56	C	D	D	C	D	D	8	消	10
7	バビット	内田博	ナカヤマフェスタ	ステイゴールド	タイキシャトル	ヘイロー	56	B	A	A	B	B	B	2	◎	14
8	ヒシイグアス	松山	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Bernstein	ストームキャット	56	B	B	B	A	B	B	1	○	1
9	サンアップルトン	柴田善	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	56	C	D	E	C	E	E	10	消	8
10	ゴーフォザサミット	蛭名	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Storm Cat	ストームキャット	56	D	B	C	A	D	D	6	消	4
11	クラージュゲリエ	ルメール	キングカメハメハ	キングマンボ	タニノギムレット	ロベルト	56	B	B	B	C	B	B	3	△4	9
12	パンサラッサ	三浦	ロードカナロア	キングマンボ	Montjeu	サドラーズウェルズ	55	C	B	B	C	B	B	9	△1	7
13	ウインイクシード	横山武	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	ボストンハーバー	シアトルスルー	56	D	B	B	B	B	C	7	△3	3
14	ショウナンライズ	大野	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Rahy	ブラッシュゲルム	56	E	D	C	C	D	E	14	消	11

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>中山記念の最大の特徴は開幕週の中山芝1800mに行われるということだろう。中山芝1800mという条件自体が先行馬に圧倒的な有利な舞台設定。それに加えて開幕週で馬場コンディションも良好となればどう考えても前に行った馬が有利になりがち。過去5年で外から差し込んで馬券に絡んだ馬はアンビシャスぐらいしかいませんし、昨年先行したソウルスターリングが穴を開けました。GI実績馬には敬意を払いつつも、前に行ける馬の残り目に期待するようないかにも前哨戦という性格のレースだと思います。</p> <p>そんなわけでこのレースで狙える馬=本命候補は2頭。まずは人気どころではバビットが面白いだろう。ラジオNIKKEI杯の内容を見ても、ベストは小回りコースでスピードと立ち回りセンスを活かしての逃げ込み。いかにも中山芝1800mは条件的に合いそうですし、前がとにかく残る中山記念のレース傾向にも合致する。前に行く馬は多いですが、何が何でも逃げなきゃダメなのはこの馬ぐらいですし、ハナさえ切れればまず好走できるんじゃないだろうか。</p> <p>穴っぽいのはコスモカレンドウラあたりか。母が短距離馬で兄弟の戦績などを見てもスピード系統に振れている感じ。この馬も中距離タイプながら距離に限界はありそうで、今までのレースぶりを見ても1800mがベストか。オープン昇級後は距離の長い2000mで最後に止まるか、1800mで出遅れて最悪な騎乗でほとんどレースになっていない。今回はベスト条件ですし、まともな鞍上に乗るならチャンスはありそう。</p>

REVIEW
<p>構造的にスローペースになりやすい舞台だが、バビットの逃げをウインイクシードが外から執拗に絡んで前半1000m=57.8のハイペース戦に。この展開になってしまえばバビットが粘れるわけではなく、それでも高速馬場で後ろから差せる馬はいなかった感じで、2番手グループがそのままだれ込むような結果になった。4着がゴーフォザサミットというのをみてもレベルは低いんじゃないだろうか。</p>

コース特徴
1コーナーまでの距離が短く、JRAのコースの中でも屈指にスローペースになりやすい

馬場レベル&バイアス
C=標準

血統傾向
中山記念はオーソドックスなクラシック血統+スピード血統の配合が有利な傾向。後ろからゆったり構えるような競馬では差し届きませんし、スピードや機動力を備えるためにもスピード血統を持っている馬が有利になるでしょう。

展開
バビットが逃げるだろうが、同型はいないのでそこまでペースは速くならなそう。前が有利だろう。

データなど特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ×9番人気以下 (0-0-0-36) ○4歳 (5-3-5-15) 17.9% 28.6% 46.4% ×4-5歳馬で当日7番人気以下 (0-0-0-13) ×間隔中2週以内 (0-0-0-11)

危険な馬
ケイデンスコール=だらっと長く良い脚を使うタイプで、障害がずっと左回りを使っているようにサウスポーの可能性が高そう。距離もマイルがベストに見えますし、毎日杯でも伸びかけて最後に止まって差されての4着。前走の京都金杯は全てがハマっての勝利に見えました。

妙味大な馬
バビット=ラジオNIKKEI杯の内容を見ても、ベストは小回りコースでスピードと立ち回りセンスを活かしての逃げ込み。いかにも中山芝1800mは条件的に合いそうですし、前がとにかく残る中山記念のレース傾向にも合致する。前に行く馬は多いですが、何が何でも逃げなきゃダメなのはこの馬ぐらい。

穴馬
コスモカレンドウラ=母が短距離馬で兄弟の戦績などを見てもスピード系統に振れている感じ。この馬も中距離タイプながら距離に限界はありそうで、今までのレースぶりを見ても1800mがベストか。オープン昇級後は距離の長い2000mで最後に止まるか、1800mで出遅れて最悪な騎乗でレースにならず。

想定時計	上3F	下3F
1:46:6	35.8	34.9

想定ラップタイム
12.4 -11.4 -12.0 -12.3 -11.8 -11.8 -11.7 -11.4 -11.8

Copyright (C) 2014 - KAZ
All Rights Reserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

